

2016 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科目区分名	外国語 科目
-------	--------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

実施対象 265 クラス中 261 クラスでアンケートが実施され、実施率 98.5%となった。延べ回答者数が 6000 人を超える最大規模の科目区分でありながら、全学平均を上回る 91.9%の回答率が得られているのは、この科目区分における出席率の高さを反映していると考えられる。

評点平均値の科目区分間比較は、授業に対する学生の反応と行動に関する項目では、「授業理解度」(4.15)「意欲」(4.17)「授業時間外学習時間」(0.73h/w)はほぼ全学平均値並みで、「知的好奇心」(3.94)は全学平均値をやや下回る。

の2項目が全科目区分中1位であり、「知的好奇心」の数値も高い。本科目区分の科目に対して学生が積極的に期待をもって取り組み、また成果を上げていることがわかる。

「授業外学習時間」の時間換算期待値は平均 0.73h/w であり、より効果的に外国語運用能力を向上させるために十分な時間が確保されているとは言い難い。学生により多くの授業外学習を促すような授業方法を採用することが望まれるが、同一担当者による同一科目でもクラスによってこの項目の結果が大きく異なる例も少なくないため、授業方法以外の要因にも目を向ける必要がある。

DWCLA10 の科目区分選択率では、「コミュニケーション力」の選択率 (41.4%) が全学平均値の二倍近い数値であることが際立っている。DWCLA10 におけるこの力の定義の一つとして「外国語能力」がスキルの種類を特定せずに示されていることを思えば、この項目の選択率自体は本来もっと高いことが望ましい。ただし、ネイティブスピーカーの担当クラスにおけるこの項目の数値が概してかなり高いことから判断して、学生は「コミュニケーション力」をより狭義で解釈していると推察される。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。